

神奈川県 の 羊 歯 植 物
(6)

大 谷 茂*

Fern Flora of the Kanagawa Prefecture, Japan
(6)

Shigeru OHTANI*
(With 1 Plate)

This report is continued from No. 16 (1970) of the Science Report of the Yokosuka City Museum. Two genera of Blechnaceae are mentioned here as follows:-

Blechnaceae of Kanagawa prefecture.
Genus *Struthiopteris* Weiss
Genus *Woodwardia* Sw.

The distribution given here for each species is based on localities of the main specimens examined by the author, or on wild localities which were confirmed by the author or are quoted from reliable literatures. Arrangement system is followed "An Enumeration of the Japanese Pteridophytes (1961)" by T. Namegata and S. Kurata. Regarding the life forms and reproductive forms of each species is shown in the first report in this series, No. 12 (1966) of this magazine.

Struthiopteris nipponica NAKAI shown in the plate is found only two localities in Miura peninsula of the figures. Erratum: *Stenogramma pozoi* (LAGASCA) K. IWATSUKI subsp. *mollissima* (Fisch. ex KUNZE) K. IWATSUKI var. *pilosissima* (H. ITO) K. IWATSUKI in p. 45 of No. 16 (1970) of this report shall be *Stenogramma pozoi* (LAGASCA) K. IWATSUKI subsp. *mollissima* (FISCH. ex KUNZE) K. IWATSUKI forma *pilosissima* (H. ITO) SUGIMOTO.

1. 緒 言

この報告は本誌 16 号 (1970) につづくものである。

ここに発表したものは神奈川県産のシシガシラ科に属するものである。

各々の種の分布資料は、著者の検し得た主要標本産地を原則としてあげた。また一部は著者の確認した自生地および信頼できる文献を引用した。

科・属・種の配列および学名は行方・倉田共編の日本産シシガシラ植物総目録によっている。

生活型 (Life form) および繁殖型 (Reproductive form) については、本報告 (1)、本誌 12 号 (1966) を参照していただきたい。

この報告をするにあたって助言ならびに資料の提供など協力された大場秀章、中池敏之、守矢淳一、小田原シシガシラ研究会および横須賀植物会の会員諸氏に深く謝意を表する。

* 横須賀市博物館 Yokosuka City Museum
Collections Examiner:

II, Department of Botany, Faculty of Science, University of Tokyo.

YCM, Yokosuka City Museum, Yokosuka.

原稿受理 1972 年 5 月 12 日 横須賀市博物館業績第 228 号

2. 神奈川県産の種類とその分布

19. Blechnaceae シンガシラ科

Struthiopteris Weiss シンガシラ属[220] *Struthiopteris amabilis* (MAKINO) CHING オサンダ (田中 1871) Ch. (e) Ep D₁ R₁

三浦: 鷹取山 (久内清孝, 採集年?)。

丹沢: ユーシン (秋山 守, 1954. 7. 29 著者確認), 西沢 (田代信二・飯田 和・西尾和子, 1958. 8. 18), 塔ヶ岳~ユーシン~檜洞沢 (大場秀章, 1962. 8. 23, no. 10852, YCM)。

箱根: Mt. Futoko in Hakone (T. Makino?, June 16, 1912, TI), 双子山 (伊藤和貴, 1913, 箱根植物目録), 神山 (府川勝蔵, 1933. 10. 15, 標本確認), 上双子 (守矢淳一, 1963. 7. 27, 標本確認), この他, 畑宿, 塔ノ沢に知られている (朝倉・田代・飯田・西尾, 1957)。

吉浜 (田代・飯田・西尾, 1957)。

湯河原 (田代・朝倉・飯田・西尾, 1957)。

[221] *Struthiopteris castanea* (MAKINO) NAKAI ミヤマシンガシラ (牧野, 1892) Ch (e) (r) D₁ R₃

この種は実葉が裸葉の2倍くらい長く, 葉柄と中軸が赤褐色をしているものである。分布の上から次の標本産地に多少の疑問はあるが, 一応この種であると認める。

横浜: 保土ヶ谷区上川井 (出口長男, 1952. 11. 20, YCM)。

丹沢: 源次郎沢 (大谷 茂, 1961. 7. 28, YCM)。

[222] *Struthiopteris niponica* (KUNZE) NAKAI シンガシラ (田中, 1871) Ch (e) (r) D₁ R₃

横浜: 根岸七曲り (久内清孝, 1916), 保土ヶ谷区, 帷子川流域, 上川井~上白根 (出口長男, 1952)一樹林下, 樹林縁陰地各地点在 (出口長男, 1968, 文献)。

三浦: 横須賀市平山~中山 (岩沢幸江, 1964. 8. 15—著者確認, 同年9月2日, YCM), 三浦市三崎引橋の谷 (西山清治・大谷 茂, 1963. 9. 15, YCM, 三浦半島新産)。

丹沢: 札掛 (倉 田悟, 1956), 塔ヶ岳 (H. Ohba, 1962, 8. 22, no. 10814, TI), ユーシン~玄倉 (H. Ohba, 1962. 8. 24, no. 10911, TI), 西沢・檜洞丸・用木沢 (田代・飯田・西尾, 1958), この他丹沢山塊では著者は, ヤビツ峠・長者舎・犬越路・檜洞・世附・水ノ木沢で確認している。

箱根: Hakone. Atami-machi (採集者?, Dec. 26, 1886, TI), Hakone (T. Makino, Aug., 1904, TI), 二子山・湯ノ花沢~神山・姥子 (箱根植物, 1913, 文献), 箱根山 (T. Nakai, Sept., 1926, TI), 箱根 (府川勝蔵, 1934. 7. 8, 著者標本確認), 上湯 (守矢淳一, 1955. 8. 26. 著者標本確認), 箱根 (村上司郎, 1957. 5. 26, 著者標本確認), 金時山 (大谷 茂, 1962. 8. 16, YCM), 箱根には各地に知られている。

湯河原: 広河原 (岩城 潔・石渡 宏, 1961. 12. 26, YCM)。

三浦半島植物誌 (1950) にシンガシラが記載されているが, その産地は記されていない, 同植物誌の著者等もその産地についてはおぼえていないという。同誌に記載されている種についての標本は一つも残っていない勿論シンガシラの標本もない。果して三浦半島にこの種が存在するかどうかその当時著者は疑問にしていたものである。また草間慶一氏は逗子桜山で見たことがあるといていたが, これもその標本はなく, その後だれも同地付近で確認したものはなかった。しかしどこかで発見されるかもしれない予感を著者はもっていた。

ところが昭和 38 年 9 月 15 日横須賀植物会の調査会を三崎の引橋から小網代に向う谷で行った

際、田圃をへだてた右側（西側）の丘の斜面で西山清治氏が発見された。著者も同行していたので直ちに確認し、三浦半島新産のシダとして標本を作製した。

翌昭和 39 年 8 月 30 日本館で定例の植物同定の会を行なった際、横須賀市阿部倉町 1445 番地の主婦、岩沢幸江さんが持参したなかに横須賀市平作町中山地内の山道の斜面で昭和 39 年 8 月 15 日採取したという本種の標本が 1 枚あった。岩沢さんは昭和 38 年 8 月ごろからこのシダに気がついていて、何というシダかわからず、ここに持参して同定を乞うた次第だといわれた。そこで著者は同年 9 月 2 日岩沢さんの案内で現地を確認した。ここに三浦半島にも上記 2 カ所にその自生が明らかになったわけである。

Woodwardia Sw. コモチシダ属

[223] *Woodwardia orientalis* SWARTH コモチシダ (松村, 1886) (コモチクセキ, 松村, 1884)
Ch (e) Ep D₁ R₂₍₄₎

横浜: 鶴見三ツ池付近 (鶴見高校生物部, 1950), 帷子川流域 (出口長男, 1952), 南区弘明寺 (長谷川義人, 1955. 12. 16, YCM), 弘明寺~永田 (長谷川義人, 1956. 7. 19, YCM), 崖地, 疎樹林下斜地, 群生または散生 (出口長男, 1968, 文献)。

三浦: 横須賀 (採集者?, Nov. 24, 1880, TI), 同, 観音崎 (大谷 茂, 1949. 9. 26, YCM; 同, 小板橋八千代, 1966. 1. 8, YCM), 同, 阿部倉 (小板橋, 1965. 12. 20, YCM), 同, 高抜海岸 (小板橋, 1965. 12. 22, YCM), 逗子市神武寺 (M. Honda, Dec. 20, 1925, TI), 同 (S. Hattori, 1938, TI), 同 (水島正美, Mar. 11, 1947, TI), 同 (逸見 操, 1953, 5, 3, YCM), 同 (大谷 茂, 1956, 1. 2, YCM; 1959, 8. 30, YCM), 同市二子山 (府川勝蔵, 1932. 5. 29, 著者標本確認), この種は横須賀市馬堀の本館附属自然教育園内に群生するほか, 三浦半島には各地に豊富に見られる。

鎌倉: 七里ヶ浜 (村松七郎, (Nov. 30, 1923, no. 703, TI), 鎌倉 (水島正美, Dec. 4, 1949, TI), 藤沢市江の島 (著者確認, 1940)。

平塚市: 西部の丘陵地, 高根・下吉沢・上吉沢・土屋地区 (守矢淳一, 1970, 文献)。

大磯: 高麗山 (守矢淳一, 1952. 10. 13, YCM)。

丹沢: 札掛一布川流域の札掛より下流 (倉田 悟, 1956), 西沢・檜洞丸・用木沢・白石沢 (田代・飯田・西尾, 1958), 札掛~タライゴヤ沢~塔ヶ岳~竜ヶ馬場 (大場秀章, 1962. 8. 22, no. 10807, YCM), ユーシン~玄倉 (大場秀章, 1962, 8, 24, no. 10906, YCM), この他大山および世附などで著者は確認している。山麓の谷筋に多く見かけるものである。

津久井根小屋 (吉川代之助, 1965. 9. 19, 文献産地)。

足柄上郡枚沢 (久内清孝, Sept. 24, 1939, no. 2652, TI), 同郡寄村稲郷 (金井弘夫, May 31, 1953, TI)。

小田原および足柄下郡橋町などで著者は確認している, 1954。

箱根: Hakone, Tōnosawa Moyori (採集者?, Dec. 24, 1886, TI), 湯本その他 (箱根植物目録, 1913, 文献産地), この他箱根には各地に知られている。

湯河原 (著者確認, 1948)。

[224] *Woodwardia orientalis* Sw.

var. *formosana* ROSENSTOCK ハチジョウカグマ (中井, 1921) (タイワンコモチシダ, 佐々木, 1928) Ch (e) Ep D₁ R₂₍₄₎

丹沢: 神繩~玄倉 (伊藤 洋, 採集年?), 林 弥栄氏の丹沢山塊の植物調査報告書 (1961) にこれを引用しているが, 著者は確認していない, 林 弥栄氏も稀産とされているものである。

小田原：塔の峰コース)鈴木紀子, 1954), 著者は確認していない。

この種は暖帯下位から亜熱帯の沿海の崖に生ずるもので、現在の分布は本州では安房、伊豆、および伊豆諸島(大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島)に知られ、西にいたっては、四国(高知の足摺岬・沖の島、愛媛の御荘町)、九州(中、南部)、琉球、台湾、中国南部に知られている。タイプは台湾のものであるが、和名は八丈島のものでつけられた、八丈島では本種をカクマリと呼んでいる。

丹沢は暖帯性の植物が多いので、本種がないとは、はっきり言いきれないが、著者は今もって確認し得ないものである。(以下、次号につづく)。

3. 学名の訂正

本誌 16 号 (1970) の [200] アラゲミゾシダの学名を次のように訂正する。

- [200] *Stegnogramma pozoi* (LAGASCA) K. IWATSUKI
 subsp. *mollissima* (FISCH. ex KUNZE) K. IWATSUKI
 form. *pilosissima* (H. ITO) SUGIMOTO

引用文献

- 1) 朝倉修一・飯田 和・田代信二・西尾和子. 1957. 小田原付近の羊歯植物目録, 箱根シダ植物調査総合一覧表: 調査日程, 早川上流 8 月 16 日, 台ヶ岳(仙石原) 8 月 17 日, 双子山 8 月 18 日, 金時山 8 月 19 日: 8~9.
- 2) 出口長男. 1953. 多摩丘陵帷子川流域の植物: 21.
- 3) 出口長男. 1968. 横浜植物誌: 68.
- 4) 林 弥栄・小林義雄・小山芳太郎・大河原利江. 1961. 丹沢山塊の植物調査報告, 林業試験場研究報告 133 号: 49.
- 5) 神奈川県植物調査会. 1913. 箱根植物: 20, 26, 149, 150.
- 6) 増島弘行・石渡治一. 1950. 三浦半島植物誌, 横須賀郷土文化研究室, 横須賀市史 No. 6: 23.
- 7) 守矢淳一. 1970. 平塚市しだ目録: 17.
- 8) 行方沼東・倉田 悟. 1961. 日本シダ植物総目録, シダの採集と培養: 321, 322.
- 9) 西田 誠・栗田子郎・大場秀章. 1964. シダ植物の分布と生態, 丹沢大山学術調査報告書: 181.
- 10) 大谷 茂. 1956. 三浦半島の羊歯, 横須賀市博物館研究報告 1: 11.
- 11) 田代信二・飯田 和・西尾和子. 1958. 西丹沢シダ目録第 1 輯: 68, 69, 70.
- 12) 吉川代之助. 1965. 神奈川県津久井町根小屋採集記, 野草 288: 89.



Fig. 1. *Struthiopteris niponica* (KUNZE) NAKAI, Hikibashi—Koajiro, Misaki, Miura City, Prov. Sagami. シシガシラ (相模, 三浦市三崎, 引橋~小網代間の谷, Sept. 13, 1964 西山清治氏撮影)。



Fig. 2. *Struthiopteris niponica* (KUNZE) NAKAI, Nakayama, Hirasaku, Yokosuka City, Prov. Sagami. シシガシラ (相模, 横須賀市平作, 中山, Sept. 6, 1964 山田秀正氏撮影)。